

令和4年度
事業報告書

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

1 会議に関する事項

(1) 令和4年度第1回理事会

ア 日時及び場所

令和4年6月3日(金) 10時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和3年度事業報告及び決算報告について
- ・議案第2号 財団施設使用規程の改定について
- ・議案第3号 会長の選任について
- ・議案第4号 令和4年度第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(2) 令和4年度第1回評議員会

ア 日時及び場所

令和4年6月21日(火) 10時00分～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 令和3年度事業報告について
- ・議案第1号 令和3年度決算報告について
- ・議案第2号 理事及び監事の選任について
- ・議案第3号 評議員の選任について

(3) 令和4年度第2回理事会 (※理事全員の同意による決議の省略)

ア 決議があったものとしてみなされた日

令和4年6月24日(金)

イ 決議があったものとしてみなされた事項

- ・議案第1号 理事長の選定について
- ・議案第2号 財団就業規程の改正について

(4) 令和4年度第3回理事会

ア 日時及び場所

令和5年3月15日(水) 10時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・報告事項 理事長及び常務理事の自己の職務の執行状況について
- ・議案第1号 令和5年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 組織規程の改正について
- ・議案第3号 令和4年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定について

(5) 令和4年度第2回評議員会

ア 日時及び場所

令和5年3月23日(木) 14時～ 国立劇場おきなわ会議室

イ 議事

- ・議案第1号 令和5年度事業計画及び収支予算について
- ・議案第2号 理事の選任について
- ・議案第3号 評議員の選任について

2 沖縄伝統芸能等の公演

(1) 自主公演の開催【年度計画：25公演41回】

25公演41回（定期公演18回、企画公演6回、研究公演3回、普及公演14回）を実施した。

ア 公演実績（カッコ内は年度計画の数値）

区分	公 演 名	公演数	回 数
定期公演	組踊	4 (4)	4 (4)
	琉球舞踊	6 (6)	9 (9)
	三線音楽	2 (2)	2 (2)
	沖縄芝居	1 (1)	2 (2)
	民俗芸能	1 (1)	1 (1)
		14 (14)	18 (18)
企画公演	新作組踊	1 (1)	1 (1)
	アジア・太平洋地域の芸能	1 (1)	1 (1)
	本土の芸能	2 (2)	2 (2)
	その他	1 (1)	2 (2)
		5 (5)	6 (6)
研究公演	朝薫五番とからくり花火	1 (1)	3 (3)
普及公演	組踊鑑賞教室	2 (2)	9 (9)
	琉球舞踊鑑賞教室	1 (1)	1 (1)
	沖縄芝居鑑賞教室	1 (1)	3 (3)
	沖縄の音色	1 (1)	1 (1)
		5 (5)	14 (14)
合 計		25 (25)	41 (41)

※【自主公演日程・演目・出演者】及び【自主公演入場率】は後記

イ 実施状況

定期公演では、組踊公演で「花売の縁」など、長年レパートリーとして親しまれてきた作品のほか、上演機会の少ない敵討ものの長編作品「久志の若按司」等を上演した。琉球舞踊公演では定番となっている「男性舞踊家の会」のほか、若手の女性舞踊家のみで構成する「うりずんの舞」、当劇場の第10回創作舞踊大賞の入賞作品など、豊かな創作舞踊の世界を紹介する「創作舞踊の会」等を上演し、琉球舞踊の魅力を発信した。また、宮城幸子・志田房子両氏の間人国宝認定を記念し、ご両人を中心に群舞を交えて「琉球舞踊特選会」を上演した。三線音楽公演では、宮沢和史氏の構成・演出のもと、琉球弧の島々の若手実力派の唄い手が、それぞれ島唄の魅力を紹介する「唄方」、琉球古典音楽に焦点を当てた「古典音楽の美」を上演した。沖縄芝居公演では、当劇場の舞台機構を駆使し、沖縄芝居の魅力を堪能する公演制作に努め、世替わりの波に押し流された悲劇の王子の半生を描いた琉球史劇「玉川王子」を上演した。3年ぶりに開催した民俗芸能公演では、南風原町の各地区に継承されている獅子舞や舞方棒などの災害を払う芸能や、十五夜遊びの中で伝承されてきた芸能を一堂に紹介した。

企画公演では、世界のウチナーンチュ大会関連企画として、大城立裕作の喜劇「トートーメー万歳」を上演した。また、京都の千本ゑんま堂引接寺に、1000年以上伝わる大念佛狂言「千本ゑんま堂狂言」や、「新作組踊」と題し、当劇場の第2回新作組踊戯曲大賞の大賞受賞作品「鶴亀の縁」を上演した。このほか、アジア・

太平洋地域の芸能としてインドネシア・ジャワ島に伝わる影絵芝居「ワヤン・クリ」、毎年秋の実施が定着している「国立劇場寄席」を上演した。

研究公演では、沖縄県本土復帰50周年及び組踊の国指定重要無形文化財50周年の記念企画として、組踊の創始者・玉城朝薫の作品を取り上げ、「朝薫五番とからくり花火」を上演した。国立劇場おきなわ文芸研究会を立ち上げ、研究成果をもとに演出を再考した公演を制作し、首里城御庭につくられた舞台を再現した。

普及公演では、組踊鑑賞教室で、組踊の理解を深める工夫をし、解説を交えながら上演した。また、沖縄芝居、琉球舞踊についても、歴史や鑑賞のポイントを紹介し、新たな観客層の拡充に努めた。このほか、沖縄音楽の魅力を広く紹介する「沖縄の音色～うちな一楽器ありんくりん～」をあらたに計画し上演した。

(2) 自主公演の開催準備

令和5年度開催の自主公演のあり方等について検討するため、公演事業委員会を令和4年8月19日、令和5年3月20日に開催した。

(3) 文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業（文化観光基盤整備事業）

県外（京都府）において、組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

・令和4年5月22日（日）／京都芸術劇場 春秋座／1ステージ（鑑賞者数510名）

(4) 沖縄県・国立劇場おきなわ鑑賞層拡大事業

観劇の際に利用する貸切バスの費用を助成する貸切バス費用助成事業（30名以上の団体を対象）を実施し、自主公演の鑑賞促進を図った。（19件57台分助成）

(5) 組踊ワークショップ等の実施

ア 県内ワークショップ

組踊公演「花売の縁」、朝薫五番とからくり花火（組踊「孝行の巻」）、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」及び組踊公演「北山敵討」の開演前に、実演家による組踊の解説や所作の体験等を行うワークショップを開催した。

「花売の縁」、「孝行の巻」及び「北山敵討」では、近畿日本ツーリスト沖縄と連携し、公演日に琉球の歴史文化を学ぶ鑑賞ツアーを実施することで、県外観光客等の誘客を図った。（令和4年6月25日（土）「花売の縁」参加者10名、令和4年10月15日（土）「朝薫五番とからくり花火」11名、令和4年12月17日（土）「北山敵討」18名 計39名 ※「花売の縁」は催行最少人数に満たなかったため、国立劇場おきなわが独自に開催した。）

なお、「朝薫五番とからくり花火」については、読売旅行社のツアーによる組踊ワークショップも行った。（10月14日（金）参加者45名）

また、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」のワークショップでは、外国人が参加できるよう英語通訳を配置し、レクチャー・体験等を通して組踊への理解を深めていただいた。（令和4年11月19日（土）参加者18名）

イ 県外ワークショップ

京都芸術劇場春秋座で行われた「琉球舞踊と組踊 春秋座特別公演（5/22）」の関連企画として、一般及び京都芸術大学生向けに組踊ワークショップを開催した。

・令和4年4月28日（木）/京都芸術大学（参加者第1部23名、第2部21名）

(6) 自主公演の広報・宣伝活動の推進

ア 公演の広報・宣伝活動の推進

- ・公演ごとにチラシを作成し、県内外の官公庁、学校、観光案内所、ホテル、近隣の公民館、図書館等へ配布を行った。

イ 看板、ポスター等掲出

- ・劇場案内及び公演告知を目的としたポスターを作成し、官公庁、学校、各種団体、芸能団体等に配付し掲示を依頼した。

ウ マスコミへの情報提供・広告掲載

- (ア) 次の媒体での定期的な公演告知・広告掲載を行った。

新聞	・琉球新報と沖縄タイムスの行事案内欄での公演告知。 ・沖縄タイムスの「ワラビー」の伝統芸能紹介コーナーでの公演紹介とチケットプレゼント ・琉球新報の「週刊レキオ」と沖縄タイムスの「週刊ほーむぷらざ」の行事案内欄での公演告知と、広告欄での広告掲載を行った。
Web	「ぴらつか暦」、「文化庁広報WEBサイト-ぶんかる-」、「PRTIMES」 「うらそえナビ」
雑誌	「日本芸術文化振興会ニュース」「話くわっちー」

- (イ) 次の媒体へ情報提供等を行い、各公演単位での取材対応・出演・公演紹介等を行った。

- ・「モモト VOL. 52」にて自主公演の案内を掲載。

- (ウ) ラジオ沖縄「華華天国」に、月に1回芸術監督等が出演し、自主公演のPRを行った。

エ その他

- (ア) 公演解説書「ステージガイド」を月単位で発行し、販売した。

- (イ) 令和4年度自主公演年間予定表の多言語版（英語・繁体語・簡体語・韓国語）を制作し、観光施設等で配布した。

- (ウ) 組踊・沖縄芝居公演等の英語版チラシを制作し、ホームページへの掲載及び劇場等での配布を行った。

- (エ) 2023年版国立劇場おきなわカレンダーを作成し、販売及び配付を行った。

- (オ) 朝薫五番リーフレットをデジタルパンフレット化し、「朝薫五番とからくり花火」の特設ページにて掲載した。

- (カ) 外国人観客の案内や問い合わせに対応するための多言語対応のタブレットによる通訳サービスの実施

- (キ) 一般社団法人りっか浦添が主催する浦添市への誘客イベント「りっか！浦添」に参加し、11月公演「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」のPRを行った。

(7) 制作協力

- (ア) 読売新聞東京本社伝統文化部と連携し、東京国立博物館で令和4年5月14日（土）に開催された特別展「琉球展」に係る関連イベント「重要文化財指定50年記念企画『琉球芸能の華～組踊と琉球舞踊～』」において、組踊等に関する解説や「執心鐘入」ダイジェスト版の上映、琉球舞踊の上演を行った。

- (イ) 国立劇場（本館）主催公演の制作協力を行い、沖縄伝統芸能の発信に寄与した。
令和5年3月琉球芸能公演 琉球歌劇「薬師堂」
令和5年3月5日（日）／国立劇場 小劇場／2ステージ
（鑑賞者数 計771名）

3 伝統芸能伝承者養成業務

組踊（立方・地方）の伝承者養成事業で次の内容を実施した。

- (1) 研修の実施（第6期組踊研修：令和2年4月～令和5年3月）
組踊（立方・地方）：第6期（9名）の3年目の研修を実施。
立方5名及び地方4名（歌三線4名）
- (2) 主な講師
宮城能鳳、城間徳太郎、西江喜春ほか（総勢14名）
- (3) 養成状況
- ア 主な授業
組踊実技（立方、三線）、副実技（琉球舞踊、笛等）、発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装、民俗芸能論、詞章研究、組踊史跡見学、公演見学、研修発表会
- イ 授業回数 合計454回
- ・組踊実技の実施（90分の296回 立方148回・地方148回）
 - ・副実技の実施（90分の51回）
 - ・基礎実技の実施（90分の64回）
 - ・講義研修（特別講義含む）の実施（90分の25回）
 - ・鑑賞・見学研修の実施16回
 - ・研修発表会の実施2回
- ウ 休暇等
- 春季休暇 令和4年4月4日～令和4年4月7日
令和5年3月8日～令和5年3月13日
- 夏季休暇 令和4年8月22日～8月31日
- 冬季休暇 令和4年12月19日～令和5年1月3日
- (4) 研修生発表会の実施
- ア 第六期組踊研修生第5回発表会：令和4年10月6日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：組踊「銘苺子」
鑑賞者数：398名
- イ 第六期組踊研修修了発表会：令和5年3月2日、国立劇場おきなわ大劇場
演 目：組踊「花売の縁」
鑑賞者数：462名
- (5) メニュー、研修実施方法等の検討
- ア 組踊研修講師会議の実施（年間3回）

イ 養成事業委員会の開催

組踊養成事業に関する現状報告及び将来に向けた意見を聴取するため、養成事業委員会を令和5年3月22日に開催した。

(6) 組踊既成者研修の実施【年度計画：年1回程度】

組踊既成者研修第12回発表会：令和4年12月3日、国立劇場おきなわ大劇場

演 目：琉球舞踊（かぎやで風、女こてい節、高平良万歳）、組踊「手水の縁」

鑑賞者数：235名

4 調査研究、資料収集・利用業務

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための業務

(1) 図書資料等の収集

組踊等沖縄伝統芸能の保存・継承に資するための図書、資料等を収集した。

(図書収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
単行本	冊	30	30	7	67
逐次刊行物	冊	51	224	24	299
公演・演出台本	冊			18	18
上演資料集	冊		1		1
合 計		81	255	49	385

(資料収集)	年 計				
	単位	購入	受贈	作製	合計
写真データCD/DVD	枚	0	0	28	28
録画テープ(VHS)	本	0	0	0	0
録画テープ(DVCAM)	本	0	0	44	44
録画テープ(HDCAM)	本	0	0	44	44
DVD	枚	0	0	0	0
組踊等衣装	着	0	0	0	0
レコード・CD	枚	0	0	0	0
ポスター	枚	0	3	32	35
チラシ	冊	0	0	2	2
展示図録	点	1	5	0	6
冊 子	点	0	0	0	0
合 計		1	8	152	161

(2) 上演資料集、古文献等の調査研究等

沖縄本土復帰50周年を記念して開催された研究公演「朝薫五番とからくり花火」において試行された音楽についてまとめた芸能資料集「冠船踊の音楽1」を製作・刊行した。

(3) 展示

沖縄の伝統芸能の普及、理解を深めるため、国立劇場おきなわが収集した組踊や琉球舞踊などの伝統芸能に関する新旧の台本、衣装、小道具などを一般に公開展示した。

期 間	名 称	内 容
令和4年 4月9日(土) ～6月19日(日) 〈72日〉	第1回 企画展 「朝薫五番」	復帰前、琉球政府により重要無形文化財に指定されていた「玉城朝薫五番」について、復帰後50年の今、原点に立ち返り、展示を行った。
令和4年 7月9日(土) ～9月19日(月) 〈73日〉	第2回 企画展 「首里城と芸能 ー踊衣裳を考えるー」	美しさだけでなく、役柄や身分を表す重要な役割を担っている踊衣裳に焦点をあて、冠船踊の際に使用された芸能衣裳の記録を中心に展示を行った。
令和4年 10月1日(土) ～12月18日(日) 〈72日〉	第3回 企画展 「首里城と芸能 御冠船 どーい!!」	琉球王国時代、冊封使をもてなす芸能は「御冠船踊」と呼ばれた。沖縄県本土復帰50周年を記念し、琉球芸能の原点である「御冠船踊」を概観する展示を行った。
令和5年 1月14日(土) ～3月26日(日) 〈73日〉	第4回 企画展 「愛さ、沖縄芝居」	自主公演「玉川王子」の上演に合わせて、県民の娯楽として長年愛されてきた「沖縄芝居」の世界を紹介する展示を行った。

【4回の企画展示の入場者数合計（カウント数）】11,698名（296日間）

(4) 公演記録

伝統芸能の調査研究、将来の演技演出の向上に資すること、レファレンスルームでの視聴や公演記録鑑賞会に活用することを目的として自主公演の映像、音声、写真記録を保存した。

- ア 自主公演の映像記録、音声記録、写真記録を収録。
- イ 組踊公演（2回）の小道具を写真撮影。
- ウ 公演記録鑑賞会を4回実施、入場者数合計 797名。

(5) 公開講座

伝統芸能の理解促進と普及を図るため、以下のとおり伝統芸能に関する公開研究講座を4回実施した。本年は公演記録鑑賞会と同時開催として、映像鑑賞を含めることで観客の興味を喚起した。なお、密を避けるため、会場を会議室から小劇場や大劇場に移し、コロナ対策を徹底した。

- ・「近現代の女性舞踊家」 令和4年6月15日
琉球舞踊研究家・波照間永子氏（明治大学情報コミュニケーション学部教授）の講義と、近現代に活躍した比嘉清子・新垣芳子・真境名佳子・比嘉澄子・山田貞子の舞踊作品を鑑賞し、女性舞踊家の足跡にふれた。（小劇場/観客数 196名）
- ・「こどもサマースクール」 令和4年8月14日
子ども達に琉球歌劇と琉球舞踊について実技・発表・鑑賞を通して学ぶことで芸能へ関心を育むことを目的とした文化庁受託事業。喜歌劇と琉球舞踊の体験機会を提供し、喜歌劇15名、舞踊15名の子ども達が6日間の稽古を重ね、舞台に立つ経験をした。一方、客席においては、子ども達による喜歌劇と琉球舞踊、琉球芸能ワークショップ、プロの役者による喜歌劇、琉球からくり花火の映像鑑賞など、舞台芸能鑑賞を体験した。（大稽古場・大劇場/参加者 245名）

- ・「踊衣裳を考える」 令和4年9月13日
古波蔵ひろみ氏（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員）による「琉球芸能装束の研究」をテーマにした講義、吉村晴子氏（たかさき紅の会代表）による「紅板締めに魅せられて」をテーマにした講義（映像出演）、寺田貴子氏（活水女子大学特別専任教授）による「琉球古刺繍について」をテーマにした講義を行い、琉球国時代から現在までの踊衣裳やその技術について理解を深めた。また、昭和11年日本青年会館における組踊映像（「花売の縁」「二童敵討」）の一部、「紅板締め－高崎でよみがえった赤の技法－」、「染織『伊平屋の阿母加那志の繡衣裳』の映像を鑑賞した。（小劇場/観客数 153名）
- ・「沖縄芝居を知る」 令和5年2月15日
乙姫劇団は、沖縄芝居の黄金時代を築き上げた女性のみで構成された劇団である。第1部では、沖縄芝居ならびに乙姫劇団の歩みについて大嶺可代氏による講座と、乙姫劇団『月城物語』の映像上映を行った。第2部では、元劇団員の中宗根律子氏を招き、乙姫劇団について鼎談をした。（小劇場/観客数 203名）

(6) 図書・資料の閲覧・公開等

芸能に関する図書・資料を収集して閲覧・公開等を行うことにより、芸能の普及発展に寄与することを目的に実施した。

レファレンスルーム利用者：1,340名（うち一般282名）

映像・音声視聴：894件（1,006時間）、映像・音声複製：51件（64時間）

公開資料：平成16年度～令和4年度自主公演記録映像、視聴覚資料、芸能図書資料、各種逐次刊行物、雑誌等

(7) 展示パネル等の活用

組踊等の沖縄伝統芸能の普及のため、県外公演（春秋座特別公演（5/22））に合わせて衣装等の展示を行った。

5 劇場施設を沖縄伝統芸能の振興又は普及を目的とする事業その他のための利用に供すること

(1) 貸劇場等の実績状況（大劇場、小劇場、稽古室等）

令和4年度における劇場施設の利用実績状況については、次のとおりである。

ア 大劇場及び小劇場

ジャンル	大劇場		小劇場		計	
	件数	使用日数	件数	使用日数	件数	使用日数
組踊	8	10	7	11	15	21
演劇	0	0	5	9	5	9
舞踊	12	24	25	46	37	70
古典音楽	4	6	8	12	12	18
民謡	0	0	0	0	0	0
民俗芸能	4	4	2	2	6	6
その他（講演会等）	4	4	9	12	13	16
計	32	48	56	92	88	140

【令和3年度実績との比較】

大劇場：件数で17件の増、使用日数で23日の増。

小劇場：件数で18件の増、使用日数で16日の増。

大劇場及び小劇場の合計：件数で35件の増、使用日数で39日の増

イ 稽古室等

施設名	使用件数	使用時間
大稽古室	455 件	1910.0 時間
中稽古室	492 件	1523.0 時間
第1・2小稽古室	372 件	1402.5 時間
第2小稽古室	359 件	858.0 時間
第3小稽古室	541 件	1419.5 時間
第5小稽古室	448 件	1324.5 時間
第6小稽古室	669 件	2114.0 時間
交流プラザ・会議室	179 件	701.5 時間
合計	3515 件	11253.0 時間

※令和3年度の実績と比較すると、件数で426件の増、使用時間で540時間の増。

(2) 貸劇場等の宣伝広報等

ア 施設利用の案内をホームページに掲載するとともに、適宜、貸劇場の空き状況を掲載した。

イ 劇場利用のご利用案内リーフレットを配布し、貸劇場の広報宣伝を行った。

ウ ホームページ等により、県民・会員等へ施設利用の広報宣伝を行った。

エ 令和5年度の貸劇場利用申込みの一斉募集を実施した。

オ 利用が少ない4－6月期の需要開拓に向け、浦添市内の企業に対し、入社式や社内研修等の開催により劇場利用を促進する案内チラシの配布を浦添市商工会議所に依頼した。

カ 稽古室のご利用案内リーフレットを増刷して館内複数箇所に設置し、稽古室利用の促進を図った。

キ 貸公演主催者へ向けて、「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」や「貸公演における対策の具体例」を郵送するとともに、ホームページへも掲載することで感染対策の周知徹底を図った。

(3) 国立劇場おきなわ施設使用予約システムの運用

ア 稽古室等の利用者の利便性を図るため、令和3年5月から、国立劇場おきなわ施設使用予約システム（通称：稽古室使い隊！）の運用を開始し、ウェブ上で稽古室等の予約が行えるようになった。

イ 本システムの稼働により、24時間いつでも稽古室等の予約を行うことが可能となっている。

ウ 令和3年7月からは、稽古室等の使用料について、クレジットカードによる支払及びコンビニでの支払が可能となっている。

エ 令和4年度からは、LINEを活用した稽古室の予約及び変更並びに利用者からの問い合わせ等に対応するサービスの提供を開始することにより、利便性の向上に努めている。

6 国立劇場おきなわの施設の管理運営

劇場施設の管理運営に係る主な契約は、以下のとおりである。

- (1) 業務委託費
 - ア 警備業務請負契約
 - イ 清掃業務請負契約
 - ウ 施設運転監視業務請負契約
 - エ 舞台技術常駐業務請負契約
 - オ 劇場案内等業務委託契約
- (2) 機械保守費
 - ア 中央監視システム保守点検業務請負契約
 - イ 電気・機械設備保守点検業務請負契約
 - ウ 舞台機構保守請負契約
 - エ 音響設備定期保守業務請負契約
 - オ 照明設備定期保守業務請負契約
 - カ 映像収録設備定期保守業務請負契約

7 「日本博」関連事業

- (1) 自主公演のうち日本博事業として実施した公演
 - ・ 5月28日 宮城幸子・志田房子 人間国宝認定記念 琉球舞踊特選会
 - ・ 6月25日 組踊「花売の縁」
 - ・ 7月23日 琉球舞踊鑑賞教室
 - ・ 8月6日～7日 親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」
 - ・ 8月20日 沖縄の音色～うちな一楽器ありんくりん～
 - ・ 9月15日～17日 沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」
 - ・ 10月14日～16日 朝薫五番とからくり花火
 - ・ 11月16日～19日 組踊鑑賞教室「二童敵討」
(はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「二童敵討」含む)
 - ・ 1月14日～15日 琉球舞踊特選会
- (2) オーディオガイドシステム等の導入

親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」及び研究公演「朝薫五番とからくり花火」において2言語（日・英）のオーディオガイド、「はじめての組踊～Discover KUMIODORI～『二童敵討』」において、4言語（日・英・中・韓）のオーディオガイドと6言語（英・中/繁・中/簡・韓・スペイン・ポルトガル）の字幕タブレットを導入し、外国人客や初めて鑑賞する来場者などの観劇の手助けとした。
- (3) 公開講座「踊衣裳を考える」（4(5) 公開講座の再掲）

企画展「首里城と芸能 踊衣裳を考える」に関連した講座。

見た目の美しさや華やかさだけでなく、役柄や身分を表すなど演出上も重要な役割を果たす踊衣裳について、琉球国時代から現在までの技術を見つめ直し、3名の講師から話をうかがった。また、講義と併せて、昭和初期の貴重な映像や、技法について紹介した映像を鑑賞し、琉球芸能についての理解を深めた。（小劇場/153人）

(4) 沖縄伝統芸能「組踊」多言語PR映像制作及びプロモーション

沖縄本土復帰50周年・組踊重要無形文化財50周年を記念して上演した『研究公演 朝薫五番とからくり花火』にあわせて、国内外から誘客するために英語字幕付きの公演のPR動画（59秒版、14.5秒版、6秒版）を作成し、SNS広告やYouTube広告を実施した。

また、動画を活用して国立劇場おきなわのホームページに掲載した（日本語・英語）ほか、館内テレビにて来館者に対して周知を図った。

沖縄県人会や（海外県人会105カ所、県外県人会33カ所）JICA（20カ所）へ周知し、沖縄タイムスやニコニコニュース等27カ所へプレスリリース、米軍基地内広報誌（OKINAWAN LIVING）へ広告を掲載した。

そのほか、横断幕の設置やPOPの掲示、塗り絵を作成し地域の保育所・児童クラブ等（139カ所）への配布、ラジオカー（4回）やテレビ番組（ローカル情報番組）に出演し誘客に取り組んだ。

【実績】※①～③は10月14日までの実績

- ① SNS広告（リンク先：YouTube動画）
リンククリック2,552件 リーチ198,720件
- ② SNS広告（リンク先：国立劇場おきなわホームページ内特設ページ）
リンククリック3,656件 リーチ206,020件
- ③ YouTube広告
表示回数28.9万 視聴回数6.26万
- ④ YouTube動画再生回数（令和5年4月27日現在）
日本語版1,101回 英語字幕版395回

8 その他必要な業務

(1) 「国立劇場おきなわ友の会」の会員募集及び講演会等の開催

会員組織の会員に対し、会報による情報提供、会員割引販売、催し物を実施するとともに、引き続き会員を募集し、観劇機会の増加に取り組んだ。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
会員数	146	774	1,142	858	1,009	1,242	1,262	1,445	1,657	2,193	2,073	1,952

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
会員数	1,992	1,810	1,636	1,670	1,648	1,266	1,345	1,353

ア 会報の発行：6月・9月・12月・3月（計4回）に会報を発行し、公演の案内を行った。

イ 会員対象催事の実施

会員の満足度向上を図るため、当劇場で活躍する実演家が伝統芸能の魅力や演じるうえで工夫していること等をトーク形式で談話する「ザ・談会Vol.1.3」を開催した。（令和5年2月25日/参加人数58名）

ウ 新規入会キャンペーンの実施：新規会員の入会を促すことを目的として、次の「友の会新規入会キャンペーン」を実施した。

- ・「友の会入会金0円キャンペーン」
7月から11月までに上演される普及公演のチケット購入者に限り、公演当日までの入会で入会金を0円とした。(新規入会者：43名)
- ・ご家族・ご友人ご紹介キャンペーン(1月～3月)
既存会員から紹介を受けて新規入会した場合、入会者及び紹介者へ特典として自主公演50%割引券を進呈した。(新規入会者：63名)

(2) 募金活動等の推進

ア 賛助会活動の推進

組踊等沖縄伝統芸能の保存振興と伝統文化を通じたアジア・太平洋地域との交流に寄与することを目的として、当財団の活動を支援してもらうため、民間への賛助依頼をした。

		県内企業等	県外企業等	個人	合計
賛助金	件数	22件	4件	19件	45件
収入	金額	1,650千円	350千円	345千円	2,345千円

イ 募金活動の推進

賛助会活動と同様の目的で、職場等募金を募った。

募金収入	件数	178件
	金額	1,379千円

(3) 劇場ホームページ等の充実

公演案内を随時更新し、公演の演目・出演者やチケットの購入方法等について情報を掲載し、内容の充実を図った。

ア 令和4年度アクセス件数810,674件(月平均67,556件)

イ 国立劇場おきなわSNS(YouTube、LINE、Facebook、Instagram、Twitter)を活用し、自主公演やイベントの情報を配信。

ウ 組踊の普及及びSNS活性化を目的とし、組踊キャラクターLINEスタンプを発売した。

【自主公演日程・演目・出演者】

期 日 等				公演名・演目	出演者
1	定期公演	4月9日 4月10日	昼	琉球舞踊 うりずんの舞 【9日】 第一部「天川」「下り口説」「かせかけ」「高平良万歳」 第二部「谷茶前」「取納奉行」「汀間当」「花風」「加那よ一天川」 【10日】 第一部「柳」「若衆ぜい」「前の浜」「本貫花」 第二部「川平節」「むんじゅる」「鳩間節」「いちゅび小」「加那よ一天川」	【9日】 大城春香 新垣早苗 友寄由奈 中村知子 仲嶺麗子 仲嶺絵里奈 横目ちはる 祖慶しのぶ 与那嶺綾子 亀川玲奈 嘉数幸雅 ほか 【10日】 親盛明佳里 島尻紀希 大城一咲 仲本久乃 上地菜緒 知念結 謝名堂奈津 具志典子 仲地理紗 大城絵美 佐渡山沙紀 ほか
2	定期公演	4月23日	昼	組踊 賢母三遷の巻 第一部 琉球舞踊「若衆踊り」 ～春風の舞い～ 「若衆特牛節」「若衆ゼイ」 「四季口説」「若衆揚口説」 第二部 組踊「賢母三遷の巻」	濱川南 仲西ここ乃 新里花野 古堅莉乃 新城蘭菜 與那覇桂子 山城亮子 平安座彩 田島吟 下地智子 宮城茂雄 海勢頭あける 親泊久玄、大灣三瑠 真境名律弘 田口博章 伊藝武士 ほか
3	定期公演	5月14日	昼	三線音楽 唄方～島々の誉れ歌・情け歌・哀れ歌～ 「鷺ぬ鳥節」「トーガニあやぐ」 「朝花節」「めでたい節」「白雲節」 「ヨイスラ節」「長雲節」「與那武岳金兄小」「伊良部トーガニー」「小浜節」「月ぬまびろ一ま節」「しゅんかね節」「与那国シヨンカネー」「多良間しゅんかに」「遊びシヨンガネー」 「六調」「別れの煙」「かんつめ節」 「崎山節」「鬼虎ぬ乙女」「白骨節」 「島唄」「豊年音頭」	仲宗根創 新垣成世 黒島新 比嘉真優子 與那城美和 RIKKI 永志保 神谷武史 宮城小寿江 宮沢和史
4	定期公演	5月28日	昼	琉球舞踊 宮城幸子・志田房子 人間国宝認定記念 琉球舞踊特選会 第一部「祝扇の舞」「作田」「浜千鳥」「汀間当」「そよめき加那よ一」「稲まづん」 第二部「螢火」「女こてい節」「波平大主道行口説」「花風」「鳩間節」「諸屯」	又吉静枝 玉城秀子 谷田嘉子 佐藤太圭子 宮城幸子(映像) 親泊興照 島袋光晴 玉城節子 金城美枝子 志田房子 比嘉聰 ほか
5	企画公演	6月12日	昼	本土の芸能 千本ゑんま堂狂言 第一部「花盗人」「牡丹獅子」 第二部「道成寺」	千本ゑんま堂大念佛狂言保存会
6	定期公演	6月25日	昼	組踊 花売の縁 第一部 琉球舞踊～花の舞～ 「本嘉手久」「若衆菊見躍」「柳」「貫花」「仲里節」 第二部 組踊「花売の縁」	又吉聖子 稲嶺ありさ 普久原郁美 仲程めぐみ 石川詩織 松田恵 中村知子 佐辺良和 新垣悟 謝名堂奈津 玉城匠 嘉手苺林一 西江喜春 比嘉聰ほか
7	定期公演	7月9日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊鑑賞会 第一部(古典舞踊)「作田」「前の浜」「高平良万歳」「諸屯」 第二部(雑踊)「むんじゅる」「加那よ一」「金細工」 第三部(創作舞踊)「いちゅび小」「うむい」「みやらび」「通い船」	山城洋子 宮良勝津美 高嶺久枝 山田多津子 真境名英美 宮里敏子 又吉静枝 玉城千枝 具志幸大 安座間明美 瑞慶山和子 前田千加子 富里敬子 伊舎堂千恵子 中村一雄 ほか
8	普及公演	7月23日	昼	琉球舞踊 琉球舞踊鑑賞教室 第一部「清ら願い」「瓦屋」「前の浜」「しゅんどう」 第二部「鳩間節」「汀間当」「加那よ一天川」「黒島口説」	知花小百合 山城亜矢乃 喜屋武愛香 仲宗根飛鳥 横目ちはる 山田直季 島袋美紀 真久田彩 島袋彩乃 天久梨奈 知花令磨 多和田美幸 仲地理紗 ほか

期 日 等				公演名・演目	出演者
9	普及公演	8月6日 8月7日	昼 昼	組踊 親子のための組踊鑑賞教室 「万歳敵討」 第一部 組踊入門 第二部 組踊「万歳敵討」	仲嶺良盛 知花令磨 阿嘉修 玉城匠 宇座仁一 新垣悟 岡本凌 高井賢太郎 宮里光也 石川直也 ほか
10	普及公演	8月20日	昼	三線音楽 沖縄の音色 ～うちなー楽器ありんくりん～ 第一部「うちなー楽器ありんくりん」 第二部「音楽の音色ありんくりん」	玉城匠 仲村逸夫 横目大哉 平良大 棚原健太 池間北斗 町田倫士 林杏佳 具志幸大 入嵩西諭 大城建太郎 森田夏子 又吉恭平 久志大樹 銘苺正士
11	普及公演	9月15日 9月16日 9月17日	昼 昼 昼	沖縄芝居 沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」 第一部 沖縄芝居の楽しみ方 琉球舞踊「若衆特牛節」「加那よ一」、喜歌劇「夜半参」 第二部 「黒島王物語」	金城真次 高里風花 伊波留依 宮里香澄 小嶺和佳子 知念亜希 高宮城実人 古謝渚 玉城匠 当銘由亮 平田晴香 座喜味米子 上原崇弘 比嘉大志 比嘉克之 川満香多 ほか
12	定期公演	9月24日 9月25日	昼 昼	琉球舞踊 男性舞踊家の会 【24日】第一部、第二部 「かぎやで風」「若衆ゼイ」「稲まつん」「前之浜」「天川」「しゅんだう」「加那よ一」「秋の踊り」「浜千鳥」「取納奉行」「金細工」 【25日】第一部、第二部 「かぎやで風」「女こてい節」「かせかけ」「松竹梅鶴亀」「高平良万歳」「江左節」「仲里節」「鳩間節」「汀間当」「馬山川」	【24日】 玉城盛義 新垣悟 嘉数道彦 佐辺良和 池間隼人 川満香多 仲村圭央 伊藝武士 嘉数幸雅 比嘉大志 ほか 【25日】 大湾三瑠 阿嘉修 石川直也 東江裕吉 宇座仁一 宮城茂雄 大浜暢明 田口博章 玉城匠 佐喜眞一輝 上原崇弘 ほか
13	研究公演	10月14日 10月15日 10月16日	夜 夜 夜	組踊 朝薫五番とからくり花火 ※美・世 【14日】 第一部 組踊「執心鐘入」 第二部 組踊「女物狂」 【15日】 第一部 「入子躍」 第二部 組踊「孝行の巻」 【16日】 第一部 組踊「銘苺子」 第二部 組踊「二童敵討」	【14日】玉城匠 新垣悟 平田智之 川満香多 宇座仁一 東江裕吉 石川直也 西江喜春 大倉源次郎 ほか 【15日】高井賢太郎 島袋浩大 嘉数道彦 宮城茂雄 宮里光也 海勢頭あける 島袋光尋 ほか 【16日】川満香多 田口博章 親泊久玄 親泊興照 宮城茂雄 玉城匠 真境名律弘 比嘉聰 ほか
14	企画公演	10月29日 10月30日	昼 昼	沖縄芝居 喜劇「トートーメー万歳」※美・世	玉城静江 東江裕吉 伊良波さゆき 花岡尚子 佐辺良和 伊波留依 平良大
15	企画公演	11月6日	昼	アジア・太平洋地域の芸能 ～インドネシア・ジャワ島～ ※美・世 第一部 ジャワ宮廷音楽と舞踊、民衆の歌 第二部 ジャワの影絵芝居「ワヤン・クリ」	インドネシア伝統芸能団ハナジョス、ガムラングループ・ランバンサリ ほか
16	企画公演	11月12日	夜	本土の芸能 国立劇場寄席 ※美 客寄囃子の実演解説、落語、太神楽曲芸、紙切り	柳家さん喬 入船亭扇遊 古今亭志ん五 入船亭遊京 林家正楽 鏡味仙志郎・仙成 柳沢きょう
17	普及公演	11月16日 11月17日 11月18日 11月19日	朝 昼 朝 昼 昼	組踊 組踊鑑賞教室「二童敵討」※美・世 第一部 組踊の楽しみ方 第二部 組踊「二童敵討」 ※19日はDiscoverKUMIODORI	伊藝武士 比嘉大志 川満香多 玉城匠 高井賢太郎 新垣悟 下地心一郎 岡本凌 砂川博仁 知花令磨 伊藝武士 ほか

※美＝美ら島沖縄文化祭2022（第37回国民文化祭、第22回全国障害者芸術・文化祭）連携事業
 ※世＝第7回世界のウチナーンチュ大会連携イベント

期 日 等				公演名・演目	出演者
18	定期公演	12月11日	昼 民俗芸能	沖縄本島民俗芸能祭 南風原の村遊び 「鉦鼓隊」「旗頭」「舞方棒」「若衆踊り(舞扇)」「総掛」「現代歌劇ハイカラ娘」「長者の大主」「揚作田」「ヤリク節」「宮平の鳩間節」「獅子舞(サールディ)」「綱曳き棒」	南風原町民俗芸能保存会
19	定期公演	12月17日	昼 組踊	北山敵討	玉城盛義 平田智之 田口博章 金城真次 宮里光也 宇座仁一 佐辺良和 宮城茂雄 親泊久玄 嘉数道彦 大湾三瑠 ほか
20	定期公演	1月14日 1月15日	昼 琉球舞踊	琉球舞踊特選会 【14日】第一部、第二部 古典音楽斉唱「かぎやで風節」「ごゑん節」「揚作田節」琉球舞踊「稲まづん」「瓦屋」「下り口説」「汀間当」「諸屯」「作田」「かせかけ」「浜千鳥」「本花風」「恋し加那よー」「護身の舞」 【15日】第一部、第二部 古典音楽斉唱「天川節」「ちるれん節」琉球舞踊「作田」「本嘉手久」「取納奉行」「揚作田」「諸屯」「高平良万歳」「女こてい節」「浜千鳥」「かたみ節」「加那よー」「むんじゅる」「鳩間節」	【14日】 安座間明美 山城洋子 宮城豊子 玉城静江 漢那七子 古謝弘子 嶺井清美 山田多津子 安次富紀子 島袋君子 玉城千枝 ほか 【15日】 比嘉涼子 比嘉美好 我那覇則子 比嘉早苗 宮城能造 根路銘広美 海勢頭あける 真境名結子 金城光子 前川美智子 皆川律子 渡久地美代子 ほか
21	企画公演	1月28日	昼 組踊	新作組踊「鶴亀の縁～扇のえにし～」 第一部 琉球舞踊「老人老女」「本貫花」「浜千鳥」「鳩間節」「取納奉行」「川平節」 第二部 新作組踊「鶴亀の縁～扇のえにし～」	島袋光尋 末吉ヤスエ 新垣満子 金城末子 島尻ひさみ 神山典子 平良恵子 多和田奈江子 金城保子 上門加代子 大嶺園子 宇座仁一 宮城茂雄 上原崇弘 川満香多 石川直也 下地心一郎 高井賢太郎 玉城 匠 ほか
22	定期公演	2月18日	昼 三線音楽	古典音楽の美 第一部 古典音楽斉唱(安富祖流) 古典音楽独唱「干瀬節」「子持節」「散山節」 第二部 古典音楽斉唱(野村流) 古典音楽独唱「仲風節」「述懐節」「仲村渠節」「本花風」舞踊「瓦屋」	城間徳太郎 中村一雄 西江喜春 島袋功 照喜名朝國 池原憲彦 仲嶺伸吾 宮城幸子 玉城秀子 ほか
23	定期公演	2月25日	昼 組踊	久志の若按司 第一部 琉球舞踊「老人老女」 第二部 組踊「久志の若按司」	親泊興照 海勢頭あける 田口博章 知花令磨 砂川博仁 大湾三瑠 宮城茂雄 川満香多 親泊久玄 平田智之 池間隼人 ほか
24	定期公演	3月11日	昼 琉球舞踊	創作舞踊の会 第一部「月の船」「神御衣 あけ」「松喬之寿」「愛しヲナリ神」 第二部「祝い節」「小浜節」「出陣」「もみじ葉」「あしび」	真境名由佳子 高嶺美和子 嘉数幸雅 具志幸大 大田文代 真境名あき 阿波連京子 阿波連とも子 玉城千枝 大田礼子 ほか
25	定期公演	3月25日 3月26日	昼 沖縄芝居	史劇「玉川王子」 第一部 舞踊「真風」 喜歌劇「想い」 第二部 史劇「玉川王子」	玉城匠 高宮城実人 瀬名波孝子 嘉数道彦 儀間佳和子 中曾根律子 赤嶺啓子 小嶺和佳子 宇座仁一 知念亜希 上原崇弘 東江裕吉 平良進 仲嶺真永 ほか

【自主公演入場率】

公演数	月 日	公演名		実績			計画		
				座席数 (a)	入場者数 (b)	入場率 (b)/(a)	座席数 (c)	目標 入場者数 (d)	目標 入場率 (d)/(c)
1	4月9日	うりずんの舞	昼	229席	181人	79.0%	230席	150人	65.0%
	4月10日	うりずんの舞	昼	229席	150人	65.5%	230席	150人	65.0%
2	4月23日	「賢母三遷の巻」	昼	540席	254人	47.0%	537席	311人	58.0%
3	5月14日	唄方～島々の誉れ歌・情け歌・哀れ歌～	昼	600席	524人	87.3%	597席	328人	55.0%
4	5月28日	琉球舞踊特選会	昼	600席	568人	94.7%	601席	451人	75.0%
5	6月12日	千本ゑんま堂狂言	昼	600席	300人	50.0%	597席	448人	75.0%
6	6月25日	「花売の縁」	昼	540席	392人	72.6%	537席	311人	58.0%
7	7月9日	琉球舞踊鑑賞会	昼	600席	391人	65.2%	601席	391人	65.0%
8	7月23日	琉球舞踊鑑賞教室	昼	484席	351人	72.5%	612席	398人	65.0%
9	8月6日	親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	昼	551席	142人	25.8%	552席	359人	65.0%
	8月7日	親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」	昼	551席	161人	29.2%	552席	359人	65.0%
10	8月20日	沖縄の音色～うちなー楽器ありんくりん～	昼	600席	267人	44.5%	597席	388人	65.0%
11	9月15日	沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	昼	484席	136人	28.1%	485席	330人	68.0%
	9月16日	沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	昼	484席	396人	81.8%	485席	330人	68.0%
	9月17日	沖縄芝居鑑賞教室「黒島王物語」	昼	484席	284人	58.7%	485席	315人	65.0%
12	9月24日	男性舞踊家の会	昼	600席	376人	62.7%	601席	421人	70.0%
	9月25日	男性舞踊家の会	昼	600席	388人	64.7%	601席	421人	70.0%
13	10月14日	「朝薫五番とからくり花火」	夜	536席	480人	89.6%	537席	403人	75.0%
	10月15日	「朝薫五番とからくり花火」	夜	603席	495人	82.1%	537席	403人	75.0%
	10月16日	「朝薫五番とからくり花火」	夜	603席	515人	85.4%	537席	403人	75.0%
14	10月29日	喜劇「トートーメー万歳」	昼	600席	317人	52.8%	597席	388人	65.0%
	10月30日	喜劇「トートーメー万歳」	昼	611席	222人	36.3%	597席	388人	65.0%
15	11月6日	アジア・太平洋地域の芸能 ～インドネシア・ジャワ島～	昼	579席	261人	45.1%	597席	358人	60.0%
16	11月12日	国立劇場寄席	夜	600席	305人	50.8%	597席	448人	75.0%
17	11月16日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝昼	1,102席	855人	77.6%	1,104席	751人	68.0%
	11月17日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝昼	1,102席	870人	78.9%	1,104席	751人	68.0%
	11月18日	組踊鑑賞教室「二童敵討」	朝昼	1,102席	552人	50.1%	1,104席	751人	68.0%
	11月19日	Discover KUMIODORI～「二童敵討」	昼	551席	164人	29.8%	552席	359人	65.0%
18	12月11日	沖縄本島民俗芸能祭「南風原の村遊び」	昼	473席	435人	92.0%	597席	358人	60.0%
19	12月17日	「北山敵討」	昼	536席	410人	76.5%	537席	311人	58.0%
20	1月14日	琉球舞踊特選会	昼	600席	345人	57.5%	601席	391人	65.0%
	1月15日	琉球舞踊特選会	昼	600席	427人	71.2%	601席	391人	65.0%
21	1月28日	新作組踊「鶴亀の縁～扇のえにし～」	昼	532席	437人	82.1%	537席	349人	65.0%
22	2月18日	古典音楽の美	昼	600席	350人	58.3%	597席	328人	55.0%
23	2月25日	「久志の若按司」	昼	536席	328人	61.2%	537席	311人	58.0%
24	3月11日	創作舞踊の会	昼	600席	352人	58.7%	601席	391人	65.0%
25	3月25日	史劇「玉川王子」	昼	473席	306人	64.7%	470席	306人	65.0%
	3月26日	史劇「玉川王子」	昼	484席	324人	66.9%	470席	282人	60.0%
		合計		22,199席	14,011人	63.1%	22,311席	14,682人	65.8%

【令和4年度各種イベント】

○公演関連イベント等

タイトル	日程・場所	料金	出演者等	参加者	応募数	定員	備考
県外組踊ワークショップ京都	4月28日(木) 第一部14:30～16:00 第二部17:00～18:30 京都府 京都芸術大学	一般 500円 京都芸術大学 学生 無料	<u>金城真次</u> 、 <u>上原崇弘</u> 、 <u>和田信一</u>	第一部 23人 第二部 21人	第一部 23人 第二部 21人	各回 25人	「琉球舞踊と組踊 春秋座特別公演」関連企画 第一部〈一般向け〉 第二部〈京都芸術大学学生向け〉
組踊ワークショップ	6月25日(土) 12:30～13:30 養成研修室	無料	<u>比嘉大志</u> 、 <u>比嘉克之</u> 、 <u>仲嶺良盛</u>	10人	10人	20人	6/25組踊「花売の縁」
令和4年度おきなわ県民カレッジ美ら島沖縄学講座「組踊への誘い」	6月25日(土) 12:00～16:00 大稽古室	無料	<u>金城真次</u>	30人	30人	30人	沖縄県教育委員会主催。講座後、大劇場にて「花売の縁」を鑑賞
劇場バックステージツアー	7月30日(土) 7月31日(日) 10:00～12:00 大劇場、大稽古室	無料	<u>伊藝武士</u> 、 <u>比嘉大志</u> 、 <u>高井賢太郎</u> 、 (30日) <u>棚原健太</u> 、 (31日) <u>徳田泰樹</u>	93人	96人	120人	対象公演 7/23 琉球舞踊鑑賞教室 8/6 親子のための組踊鑑賞教室「万歳敵討」
読売旅行 復帰50周年特別公演鑑賞と琉球からくり花火・琉球伝統文化・世界遺産にふれる3日間／あぜくら会会員様特別企画「沖縄本土復帰50周年」・「組踊」重要無形文化財指定50周年記念 国立劇場おきなわ「組踊」特別記念公演と琉球からくり花火3日間	ワークショップ 10月14日(金) (1回目) 12:30～13:30 (2回目) 17:00～18:00 大稽古室	—	<u>高井賢太郎</u> 、 <u>下地心一郎</u> 、 <u>金城亮太</u>	45人	45人	45人	10/15 朝薫五番とからくり花火 組踊「孝行の巻」を鑑賞
近畿日本ツーリスト沖縄 組踊「孝行の巻」と琉球の歴史文化を学ぶ旅	ワークショップ 10月15日(土) 17:00～18:00 養成研修室	—	<u>伊藝武士</u> 、 <u>知花令磨</u> 、 <u>徳田泰樹</u>	11人	11人	20人	10/15 朝薫五番とからくり花火 組踊「孝行の巻」を鑑賞
外国人のための組踊ワークショップ	11月19日(土) 12:00～13:30 大稽古室	無料	<u>上原崇弘</u> 、 <u>比嘉大志</u> 、 <u>金城亮太</u>	18人	18人	20人	11/19はじめての組踊～Discover KUMIODORI～「二童敵討」を鑑賞
近畿日本ツーリスト沖縄 組踊「北山敵討」と琉球の歴史文化を学ぶ旅	ワークショップ 12月17日(土) 12:30～13:30 大稽古室	無料	<u>比嘉大志</u> 、 <u>高井賢太郎</u> 、 <u>徳田泰樹</u>	18人	18人	20人	12/17組踊「北山敵討」を鑑賞
			合計	311人	314人	365人	

○その他イベント等

タイトル	日程・場所	料金	出演者等	参加者	応募数	定員	備考
おでかけワークショップin港川小学校	11月11日(金) 浦添市立港川小学校 小学校体育館	無料 (受託事業)	<u>金城真次</u> 、 <u>上原崇弘</u> 、 <u>棚原健太</u>	150人			5年生対象
おでかけワークショップin沢岨小学校	12月20日(火) 浦添市立沢岨小学校 小学校体育館	無料 (受託事業)	<u>金城真次</u> 、 <u>島尻紀希</u> 、 <u>棚原健太</u>	128人			6年生対象
国立劇場おきなわ友の会「ザ・談会vol.3」	2月25日(土) 12:00～13:00 小劇場	無料	(出演) 與那國太介 <u>棚原健太</u> 平敷勇也 伊波留依 (聞き手) <u>金城真次</u>	58名	62名	250名	友の会会員限定企画
国立劇場おきなわ自主組踊公演観劇ラリー	令和4年6月～ 令和5年2月			44名			友の会会員限定企画 対象組踊公演チケット 3公演以上購入者に割引券(50%OFF)1枚進呈
国立劇場おきなわ友の会入会0円キャンペーン	令和4年7月～ 11月			43名			対象普及公演チケット 購入者に限り入会金0円
国立劇場おきなわ友の会ご家族・ご紹介キャンペーン	令和5年1月～ 3月			63名			会員からの紹介は入会金0円、紹介者には割引券(50%OFF)1枚進呈
「沖縄の音色～うちなー楽器ありんくりん～」楽器体験	8月20日(土) 公演終了後 大劇場ホワイエ	無料 (公演チケット購入者限定)	仲村逸夫 横目天哉 平良大 <u>棚原健太</u> 池間北斗 町田倫王 林杏佳 具志幸大 入嵩西諭 <u>大城建太郎</u> 森田夏子 又吉恭平 久志大樹	42人			三線・箏・胡弓・太鼓の楽器体験 笛の展示 ニシキヘビの皮展示
			合計	528名	—	—	

※出演者等の下線は、組踊研修修了者